

改革プラン」で示している計画どおり進める。スケジュールは、20年度に準備21年度に公募、22年度にスタート予定である。実施対象の保育園は、現在のところ未定である。

問 介護慰労金の支給対象者は。

保健福祉課 在宅寝たきり認知症高齢者、重度障害者を6カ月以上継続して介護している人が対象で年額2万円を支給している。対象者の判定は、民生委員の聞き取り調査により行う。

町道細浦柳沢線の全線開通の見通し

問 細浦柳沢線の全線開通の見通しは。

地域整備課 重要路線であり計画は生きているが厳しい状況である。山田中学校側の部分は、県代行事業で行ってもらうよう要望している。柳沢側の部分は、区画整理事業で行う。

問 町営住宅を借りているのに、実際に住んでいない人がいるか。

地域整備課 希望ヶ丘団地に2人、赤松団地に1人いる。退去するよう話をし

ている。入居したい人が入れるようにしたい。

社会福祉協議会への補助金交付の根拠は

問 社会福祉協議会へ交付している補助金の根拠は。

保健福祉課 社会福祉協議会が行っている仕事には公共的性格もある。行政が行うべき社会福祉活動部分の事業に対して運営費を補助している。

問 漁協が負担している下水道の受益者負担を放棄することができないか。



9月14日に県に対する要望が行われ、「町道細浦柳沢線」の県代行事業のお願いと現地視察が行われました

産業振興課 漁協の負担金は、漁業集落環境整備事業の実施に当たり、話し合った結果の約束事項である。

漁協の経営状況を見ながら金額などに対応するが今後継続する考えである。山田地区、織笠地区の受益者負担金は住民からいただく。

火災報知機の設置率の状況

問 火災報知器の設置状況は。

消防防災課 本町での設置状況は、8月末現在で新

築25件、既存住宅61件。設置率は2%にとどまっている。啓発を行い、設置の促進を図っていく。

海外研修派遣事業の実施効果は

問 海外研修事業は実施する効果があるか。人数を減らし予算を別の事業に回すことができないか。

教育委員会 海外研修は「ふるさと創生基金」を利用して実施している。「次世代への人づくり」の考えで行っており、今後も継続していきたい。

スクールガードリーダーの効果は

問 スクールガードリーダーの効果は。

教育委員会 登下校時の児童・生徒に対する声かけ事業が激減している。また、交通安全についても助言があり、安全マップの見直しにつながっている。

問 山田の生徒の学力の状況は。

教育委員会 ほぼ県平均のレベルになっている。

賛成討論

■吉川淑子 議員

厳しい財政状況の中「自主・自律・協働」を基本理念とした「町第8次総合発展計画」の初年度の重要施策を着実に推進することができた。また、身の丈にあった財政運営でプライマリーバランス（基礎的財政収支）の均衡に努め、財源の効率化・節減に努めた結果8651万円を次年度に繰り越すことができた。これも沼崎町長の指導力と課長を中心として職員が一致団結した結果として表れた成果である。